

# 産総研福井サイト開設3周年記念講演会 SDGsに貢献する産総研の技術シーズ

平成31年4月19日(金) 13:30~16:30

福井県工業技術センター(福井市川合鷺塚町61字北稻田10)  
C101会議室(研修棟1階)

SDGs(持続可能な開発目標)は、2015年に国連で採択された国際社会全体が取り組むべき行動計画の目標として設定されましたが、最近特に注目を集めるようになってきました。福井県内においても既に企業、大学等でSDGsに関連した活動が始められており、ふくいオープンイノベーション推進機構(FOIP)においても検討が進められています。本講演会はこの“SDGs”をテーマとして、SDGsについての理解を深めていただくと共に、その目標達成に貢献できる産総研の技術シーズを紹介させていただきます。

## プログラム

- 13:30 主催者挨拶 産総研関西センター 所長 角口 勝彦  
13:35 来賓ご挨拶 福井県産業労働部 企画幹 吉川 幸文 様

- 13:40 「持続可能な社会のためのエネルギー・環境研究」  
産総研 理事

エネルギー・環境領域 領域長 小林 哲彦



持続可能な社会実現のためには、地球温暖化や資源枯渇の問題解決を避けて通れません。他方、これらの対策にはコストがかかるため、自然な経済活動に頼ってはいは実現が困難です(外部不経済)。国連やG20は、社会的コスト負担の観点でも警鐘を鳴らし続けて来ましたが(ESG投資、TCFD等)、ようやく我が国でも関心が高まって来たように感じます。産総研では、地球温暖化や資源枯渇の問題解決に向けて未来に選択肢を残すような技術開発を進めると共に、環境リスク評価などの技術開発にも取り組んでいます。

- 14:10 「関西SDGs貢献チャレンジ

～近畿経済産業局のSDGs推進取組について～

近畿経済産業局 通商部国際事業課

国際交流調整官 坂本 りっか 様



近畿経済産業局では「関西SDGs貢献ビジネスネットワーク」を立上げ、地方におけるSDGsの主流化を推進してまいりました。中小・小規模事業者においてSDGsに関する取組を強化し、各社の成長につなげていただくことは、政府の「SDGsアクションプラン2019」でも重要な柱のひとつです。今回は、当局のSDGs関連取組とあわせて、SDGsにまつわる昨今の動きやビジネスとの関わりについてご紹介します。

主催: 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
共催: 福井県、公益財団法人ふくい産業支援センター  
後援: ふくいオープンイノベーション推進機構

問い合わせ先:  
産業技術総合研究所福井サイト  
(福井県工業技術センター内)  
E-mail: fukui-site-ics-ml@aist.go.jp  
TEL: 0776-55-0152

## 14:50 「生分解性プラスチックと海洋生分解性

～海洋プラスチック問題解決に向けて～

産総研 バイオメディカル研究部門 主任研究員 中山 敦好

本年6月に我が国で開催されるG20サミットにおいて、海洋プラスチック問題が取り上げられるように、プラスチック類による海洋汚染の解決は喫緊の課題となっています。解決策の一つとして、生分解性プラスチックへの期待は大きい一方、海洋での生分解については研究報告が少なく、環境安全性について不安視する意見も少なくありません。ここではどのような生分解性プラスチックがどのような環境下でどの程度生分解されるかについて解説します。



## 15:20 「現場検査のための先進X線非破壊計測

～インフラ構造物用の効率的な検査が可能に～

産総研 分析計測標準研究部門 首席研究員 鈴木 良一

国内には高度成長期に建設された膨大なインフラ構造物があり、それらを維持・活用するための効率的な検査技術が必要とされています。X線非破壊検査は、内部を非破壊で検査できる有用な検査法ですが、電源、重量、サイズ、漏洩X線等の問題から現場での検査が制限されていました。我々は、この課題を解決するため、小型軽量で電池駆動可能な高エネルギーX線源と高感度検出器、自動計測システムを用いて現場で効率的で安全な検査ができる非破壊検査システムの開発を行っています。



## 15:50 「クリーン発電で安全と安心を実現

～冷却水不要の小型熱発電装置～

産総研 無機機能材料研究部門 研究グループ長 舟橋 良次

高い耐久性と安全性を持つ酸化物熱電モジュールを搭載した小型熱発電装置を開発しました。冷却水が不要なため設置が容易、長時間発電が可能で、誰でも簡単に使用できます。工業炉、焼却炉、エンジンからの排熱を用いることで、二酸化炭素の排出無しでLED照明やセンシング、データ送信などIoT用電源として使用できます。小型で運搬も可能であるため、災害時の緊急電源として、避難所や工場など熱のある場所で、いつでも利用できます。



国際社会全体が取り組むべき行動計画として「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が、2015年に国連で採択されました。この中で、17の目標を掲げたSDGsが示されています。